

海外講演報告（タイ バンコク）

1.	日程	2013年 11月16日（土）
2.	地域（概要含む）	タイ バンコク
3.	担当者（人数・役割）	舘岡洋子（早稲田大学）
4.	海外講演の形態 （講演・シンポ・WS・その他）	講演＋WS
5.	主催 （招聘・科研・個人・その他）	国際交流基金バンコク日本文化センター 日本語教育セミナー
6.	テーマ（タイトル）	「協働の学びの場をデザインするーピア・ラーニングの 実践ー」
7.	内容の概要	<p><本講演の目的></p> <p>①教室とはどのような場なのか考える ②協働で学ぶ意義を理解する ③自分の教室で実践できるピア・ラーニングを考える</p> <p><流れ></p> <p>9：00～12：00（途中15分休憩）</p> <p>①活動1：あなたのめざす教室は？ ②講義1：ピア・ラーニングの背景 ③活動2：学習者体験 ④講義2：協働による学びをどう深めるか ⑤活動3：授業デザインの実際 ⑥活動4：振り返り</p>
8.	参加者 （人数・背景・声など）	<p>約80名</p> <p>参加者は日本人およびタイ人、また、中等教育教員および大学教員が混ざっており、また、ピア・ラーニングへの意識や経験も多様であった。</p>
9.	担当者の内省	<p>講演の柱を①講義、②学習者体験、③教師としてのデザインの体験と3本設けた。これは、今まで①②で終わってしまうことが多いと反省していたからである。しかし、実際には3時間で①②③すべてを盛り込むのは難しく、中途半端となった可能性もある。参加者が大人数の場合は講演と小さなWSをいくつか行い、背景が異なる教師たちによる授業デザインの体験は少人数でじっくり行うほうが進めやすいだろう。</p>

10.	次回への課題	教師たちによるピア・ラーニングの授業デザインを互いに発表し合い、コメントし合うような場を作っていきたい。
-----	--------	------------------------------------------------------